

平成25年度当初予算 施策 取組概要

341 三重県営業本部の展開

34101 営業機能の強化 (雇用経済部)

34102 効果的な情報発信戦略の推進 (雇用経済部)

(主担当部局：雇用経済部)

県民の皆さんとめざす姿

三重の産業の持つ魅力や価値が、県が先頭に立った営業活動を通じて国内外から共感を呼び、産業の活発化や地域経済の活性化につながるとともに、県内への企業立地、製品・県産品等の売り上げ向上や観光旅行者の増加につながっています。

平成27年度末での到達目標

首都圏等における営業(セールス)機能が強化され、三重が誇れるものづくり中小企業や観光商品・県産品等の魅力や価値が、トップセールスを中心とした強力な営業活動により広く情報発信されることで、国内外から共感を呼び、魅力ある地域として三重の認知度が高まっています。

県民指標				
目標項目	23年度 現状値	24年度 目標値 実績値	25年度 目標値 実績値	27年度 目標値 実績値
三重が魅力ある地域であると 感じる人の割合	—	45.0%	50.0%	60.0%
	40.0%	—	—	—
目標項目の説明				
【目標項目】 首都圏等における県事業を通じて把握した、三重が魅力ある地域であると感じる人の割合				

活動指標					
基本事業	目標項目	24年度 目標値	24年度 実績値	25年度 目標値	27年度 目標値
34101 営業機能の強化	営業本部活動回数(累計)	100回	—	200回	400回
34102 効果的な情報発信戦略の推進	三重の応援団など三重県を応援する三重県ファン数(累計)	250人	—	500人	1,000人

進捗状況(現状と課題)

- 平成25年の神宮式年遷宮、平成26年の熊野古道世界遺産登録10周年を迎える、この絶好の機会に、情報発信の中心である首都圏において、営業活動を総合的に進めるための「首都圏営業拠点」の整備に向けた準備を進めています。

- ・ 「首都圏営業拠点」の整備に向けては、効果的な運営を図っていくための機能や仕組み、市町が情報発信したい魅力や地元の受入体制のあり方などについて、関係事業者や有識者等との意見交換などによる検討、市町との連絡会議の開催や各市町への訪問によるヒアリングの実施など、県内市町や事業者の方々との議論を進めています。
- ・ こうした議論において、「首都圏営業拠点」の基本コンセプトや機能としては、三重ならではの特色ある魅力を前面に打ち出し、拠点の来場者に、三重の魅力を「予感・体感」していただくことを通じて、「三重はこんなにも魅力あふれる所。是非とも行ってみたい」と思わせるような、「三重の玄関口」としての機能が重要であると考えていることから、魅力を発信する仕掛けなどについて、検討を進めています。
- ・ 首都圏において三重の認知度向上につなげるためには、「首都圏営業拠点」を核に、「食」や「観光」、「歴史」、「文化」などのさまざまな魅力を、三重ゆかりの店舗や企業等と連携し、首都圏全体で面的に情報発信していくことが重要であり、このような取組を通じて、県内への観光誘客や県産品の販路拡大等につなげていく必要があります。
- ・ このため、県内市町等と連携し、集客力の高いエリアでの「三重フェア」の開催など、三重の魅力の総合的な情報発信に取り組むとともに、ネットワークづくりや三重のファンづくり、県産品の販路拡大、観光情報の発信、地域資源の価値の再発見などに取り組んでいるところです。
- ・ また、こうした取組をベースに、「首都圏営業拠点」を核にした面的な情報発信が展開できるよう、三重を応援いただける店舗や企業、三重ファンのネットワークの拡充を図りながら、三重の食材の売り込みやイベント等の「旬」の情報を情報発信する「三重の応援団通信」の発行など、ソフトの基盤整備を進めます。
- ・ 一方、関西圏の営業拠点である大阪事務所では、市町が実施する観光誘客や物産等の販路拡大をサポートする形で取組を進めてきました。また、三重にゆかりを持つ企業や飲食店への訪問を通じていただいた意見をふまえ、関係部局と連携してビジネスマッチングや、企業・団体と連携した観光展やイベントを実施するなど、新たな取組も進めているところです。

平成 25 年度の取組方向

雇用経済部

- ・ 平成 25 年夏の開設に向け、「食べる」、「買う」、「体験する」といった複合的な機能を担う「首都圏営業拠点」の整備を進めるとともに、拠点開設に向けた情報発信に取り組めます。
- ・ 「首都圏営業拠点」を核とし、首都圏における営業活動を展開するため、コアな三重ファンの拡大、三重の情報発信や営業活動に協力いただける企業や店舗のネットワークの拡大を図りながら、ネットワークを活用し、目的・ターゲットを明確にしたうえで、集客力の高いエリアでの情報発信や首都圏全体での面的な情報発信に取り組み、三重の認知度向上につなげます。
- ・ コアな三重ファンを獲得しネットワークの拡大を図るため、「首都圏営業拠点」において、効果的な講座などを開催するとともに、例えば、地域ブランド力の高い商品や、地域色が濃厚な開発商品に関して、その作り手の創意工夫などの「物語」、背景となっている地域の「歴史・文化」を総合的にプロデュースした演出を行うなど、三重の魅力を総合的に伝えることができるような施設運営に取り組めます。

- また、県内市町や関係団体、事業者等との連携、日本橋地域の三重ゆかりの企業等との連携、三重を応援いただける企業や店舗との連携などによる取組を進め、県内生産者と首都圏流通事業者との商談会開催による新たな販路の拡大、観光誘客やコアなファンの囲い込みにつながる情報発信、市町と連携したイベント開催による地域製品の販路拡大、デザイナーと連携した伝統工芸品や地域資源を活用した県産品のブラッシュアップの機会の拡大などに取り組むなど、「首都圏営業拠点」を最大限活用していきます。
- 特に、日本橋には、「日本橋三越」や、「三井不動産」等の三井グループ、食品問屋大手の「国分」、紙問屋の「小津産業」など、今なお、三重ゆかりの企業が多くあることから、こうした企業としっかりと連携を図りながら、日本橋エリア全域でのフェアやイベント、商談会の開催など、三重の魅力の発信効果を高めるような取組を展開します。
- さらに、三重を応援いただける企業や店舗などと連携し、多数の応援店舗と連携した「三重フェア」の開催により、県の食材の売り込みを図るとともに、県内産地等へのシェフやバイヤー等の招聘などにも取り組みます。また、首都圏等への地域食材に係る営業活動を積極的に展開するため、地域食材を使った商品の開発から販路開拓まで総合的に支援する新たな仕組みづくりに取り組みます。
- 関西圏においては、大阪事務所の組織・機能を見直し、積極的な営業活動を展開していくことで、三重の関西圏における存在感を高める役割を担います。具体的には、県人会をはじめ、経済界や大学、鉄道事業者、小売・流通事業者などとのネットワークづくりを強化し、そういったネットワークを活かした営業活動を展開します。
- また、関西圏の店舗や企業などのニーズをしっかりと把握し、県産食材等のスーパー等への設置売り込みや出前商談会の開催などにより、県産品の販路拡大に取り組むとともに、関西圏で売れる三重の魅力づくりにつなげます。
- 特に、平成 25 年の神宮式年遷宮、平成 26 年の熊野古道世界遺産登録 10 周年を迎えることから、これを絶好の機会として、市町、県民の皆さん、企業や団体等の方々とのさらなる協力を得ながら、関西圏の商業施設や集客施設等での「三重フェア」の開催や、関西圏でのパブリシティの強化などにより、三重の認知度向上につなげます。
- さらに、営業活動のエリアを、大阪だけにとどまらず、兵庫や京都など広く関西圏に対して、市町や商工団体と連携して営業活動を行うなど、三重を総合的に売り出していく取組を展開します。

主な事業

雇用経済部

●首都圏営業拠点推進事業【基本事業名：34101 営業機能の強化】

(第7款 商工費 第1項 商工業費 3 商工業振興費)

当初予算額：(24) 1, 891千円 → (25) 241, 175千円

事業概要：平成 25 年の神宮式年遷宮、平成 26 年の熊野古道世界遺産登録 10 周年を迎える絶好の機会に、情報発信の中心である首都圏において、営業活動を総合的に進めるため、平成 25 年夏に「首都圏営業拠点」を整備します。首都圏営業拠点では、「食べる」、「買う」、「体験する」といった複合的な機能を発揮できるよう、効果的な施設運営及び情報発信を推進するとともに、首都圏での販路拡大や観光誘客につなげるため、法人営業やネットワークの拡充を図ります。

- (新) 首都圏営業拠点開設に向けた情報発信事業【基本事業名：34101 営業機能の強化】
(第7款 商工費 第1項 商工業費 3 商工業振興費)

当初予算額：(24) ー 千円 → (25) 8, 805千円

事業概要：首都圏営業拠点の開設に向け、三重のゆかりの店舗や企業などと連携し、街全体を巻き込んだプレイベントや関連イベントを実施するなど、首都圏での情報発信を行います。

- (新) 戦略的営業活動展開推進事業【基本事業名：34102 効果的な情報発信戦略の推進】
(第7款 商工費 第1項 商工業費 1 商工業総務費)

当初予算額：(24) ー 千円 → (25) 29, 843千円

事業概要：首都圏全体の面的な情報発信に向け、県内市町や関係団体、事業者等との連携を図りながら、「首都圏営業拠点」を最大限活用していくとともに、営業拠点を核に、日本橋ゆかりの企業等との連携、さらには、三重の情報発信や営業活動に協力をいただく「応援店舗」や「応援企業」と連携し、集客力のあるショッピングモール等の商業施設や情報発信力の高いエリアで「三重フェア」等を開催するなど、首都圏全体の面的な取組へと広がっていきます。こうした取組を活かし、首都圏全体で戦略的な営業活動を展開します。

- (一部新) 関西圏営業基盤構築事業【基本事業名：34102 効果的な情報発信戦略の推進】
(第7款 商工費 第1項 商工業費 1 商工業総務費)

当初予算額：(24) 3, 467千円 → (25) 5, 995千円

事業概要：関西圏の営業機能を強化するため、県人会を核としたネットワークづくりや、小売・流通業者との関係構築などに取り組みます。また、「食」や「観光」など三重の魅力を消費者等にわかりやすく伝えるため、集客施設やショッピングモール等で「三重フェア」等を開催するほか、地域のイベントや展示会への参画、マスコミキャラバン等、さまざまな仕掛けを行います。さらには、関西圏の経済界との関係をより強固なものにするなど、効果的な情報発信、営業活動を展開します。